

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-339379

(43)Date of publication of 08.12.2000

application :

(51)Int.Cl. G06F 17/60

(21)Application 2000-079638 (71)Applicant MIKI HIROSHI

number : :

(22)Date of filing : 22.03.2000 (72)Inventor : MIKI HIROSHI

(30)Priority

Priority 1107899 Priority 24.03.19 Priority country : JP

number : 5 date : 99

(54) FORTUNE LINK TYPE INSURANCE PROCESSING SYSTEM

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-339379

(P2000-339379A)

(43) 公開日 平成12年12月8日 (2000.12.8)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21

テ-マコ-ト* (参考)

Z 5 B 0 4 9

T

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2000-79638 (P2000-79638)

(22) 出願日 平成12年3月22日 (2000.3.22)

(31) 優先権主張番号 特願平11-78995

(32) 優先日 平成11年3月24日 (1999.3.24)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 599039935

三木 弘

大阪府大阪市住之江区東加賀屋1丁目7-9-1206

(72) 発明者 三木 弘

大阪府大阪市住之江区東加賀屋1丁目7-9-1206

(74) 代理人 100087882

弁理士 大石 征郎

Fターム (参考) 5B049 AA02 BB67 CC05 CC11 DD01

EE05

(54) 【発明の名称】 運勢連動型保険処理システム

(57) 【要約】

【課題】 消費者に抵抗がないばかりか、従来保険に関心を持っていない層も関心を持つようになり、さらには消費者自らが加入しようとする動機付けとなる。しかも需要者の経済的負担も少なく、一方保険会社や代理店にとっては、消費者の注目を惹くと共に、顧客獲得のための投資額が小さいにもかかわらず、新たな多数の顧客を獲得することが可能となる。そのような運勢連動型の保険処理システムを提供することを目的とする。

【解決手段】 運勢を知るに必要な諸データに関する運勢データファイル(11)と、保険処理に必要な諸データに関する保険データファイル(12)とを備え、かつ保険業務の演算、記録、管理等の処理を行うためのホスト側コンピュータ(1)と、運勢判断用個人情報入力画面手段(21)、占い種類入力画面手段(22)、その運勢情報に対応する保険情報を表示する保険情報表示画面手段(24)、保険加入期間入力画面手段(25)などを備えた利用者側端末装置(2)とからなる。

あなたの運勢 2000年(平成12年)1月~12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合運	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
財運	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
健康運	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
恋愛運	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
仕事運	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
金運	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

保険料 (掛金) の欄と、コース A、B、C、D、O のいずれかをチェックして下さい。

保険料 (掛金) 3000円コース	加入期間	最大償還額	保険料 (掛金) 1500円コース	加入期間	最大償還額
コース A	2ヶ月間	1,000万円	コース A	2ヶ月間	500万円
コース B	3ヶ月間	667万円	コース B	3ヶ月間	333万円
コース C	4ヶ月間	500万円	コース C	4ヶ月間	250万円
コース D	6ヶ月間	333万円	コース D	6ヶ月間	167万円
コース O	12ヶ月間	167万円	コース O	12ヶ月間	83万円

加入期間を任意に選択するときは、下の「任意選択」ボタンをクリックすると共に、加入する月をクリックして下さい。

任意選択	加入月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
		7月	8月	9月	10月	11月	12月

任意選択 占いの種類の選択画面に戻る 終了

【特許請求の範囲】

【請求項1】 運勢に関する情報と保険に関する情報を備えたホスト側コンピュータ(1)と、そのホスト側コンピュータ(1)にアクセス可能な利用者側端末装置(2)とからなり、利用者側の操作により選択または設定した運勢情報に基いて保険加入期間および保険条件を定め、保険加入のための手続ができるようにしたことを特徴とする運勢連動型保険処理システム。

【請求項2】 運勢を知るに必要な諸データに関する運勢データファイル(11)と、保険処理に必要な諸データに関する保険データファイル(12)とを備え、かつ保険業務の演算、記録、管理等の処理を行うためのホスト側コンピュータ(1)と、そのホスト側コンピュータ(1)との間でアップロードおよびダウンロードを行うための端末装置であって、運勢判断に必要な利用者の個人情報を入力するための運勢判断用個人情報入力画面手段(21)と、占いの種類を入力するための占い種類入力画面手段(22)と、それらの個人情報および占いの種類に基く利用者の運勢情報を表示する運勢情報表示画面手段(23)と、その運勢情報に対応する保険情報を表示する保険情報表示画面手段(24)と、その保険情報に基き保険加入期間を設定する保険加入期間入力画面手段(25)と、他の保険加入に必要な保険条件を設定するための保険条件入力画面手段(26)と、他の保険加入に必要な個人情報を入力するための保険加入用個人情報入力画面手段(27)とを備えた利用者側端末装置(2)とからなることを特徴とする運勢連動型保険処理システム。

【請求項3】 利用者側端末装置(2)が、さらに、保険加入申込書または保険証券に相当する画像を表示、記憶または出力する確認手段(28)を備えている請求項2記載の運勢連動型保険処理システム。

【請求項4】 運勢情報表示画面手段(23)における画面には、一定期間の運勢が表、グラフまたは図形で表示できるようにされており、それに基づいて利用者が保険加入期間入力画面手段(25)により保険加入期間を選択設定することができるようにになっている請求項2記載の運勢連動型保険処理システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、斬新で注目を惹き、かつ利用者（保険契約者や被保険者）および保険会社（またはその代理店）の双方にとって魅力のある運勢連動型の保険処理システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 〈保険について〉 保険は大きく分けて生命保険と損害保険とがある。生命保険は被保険者の生死を対象とする定額の保険であり、損害保険は発生した損害を実額で填補する保険である。後者の損害保険には、傷害保険、海上保険、火災保険、自動車保険、盗難保

險、賠償責任保険をはじめ多種のものがある。このうち傷害保険には、普通傷害保険、家族傷害保険、こども総合保険、旅行傷害保険をはじめとする種々のものがあり、損害保険の中でも定額で補償される保険である。傷害保険において保険金支払いの対象となる事故は、家庭生活でおきる事故、勤め先や通勤途上の事故、スポーツや旅行の際の事故などである。

【0003】 保険契約においては、保険会社と保険契約者が当事者になる。保険契約者が被保険者と同じでないこともある。被保険者とは、生命保険の場合にはその人自身を意味し、損害保険の場合には保険事故が発生したとき損害填補を受けることのできる人、つまりその物の所有者あるいは被害者となる。

【0004】 保険期間は、数10年という長期のものから、旅行傷害保険のように旅行の間の1週間だけというように短期のものまで種々様々である。また、保険期間はたとえば1年であるが、その期間の中のスポーツの練習日におけるスポーツに起因する事故だけというように保険適用の事故原因をも特定するものがある。このうち臨時ないし短期間のもや事故原因特定タイプのは、保険契約者にとっては掛金が低廉となる利点があり、保険会社にとっては顧客層が広がるという利点がある。

【0005】 〈コンピュータ利用システム〉 一般に、保険に加入しようとする人は、保険会社や保険代理店の説明を受けてから申込書に必要事項を書き込み、少なくとも1回目の保険料（掛金のこと）を払い込む。保険会社は、契約の証として保険証券を発行する。もし保険期間内に保険事故が発生したときは、所定の手続を経て保険金が支払われる。

【0006】 このような加入の仕方は通常の方法であるが、手続に手間を要するので、コンピュータを利用した処理システムがいろいろと提案されている。なお、符号(a)、(b)・・・は、単に理解を容易にするために付したものである。

【0007】 たとえば、特開平7-5135号公報には、使いやすく、操作性にすぐれ、保険設計コンサルティング業務を円滑に遂行する装置、さらに詳しくは、ペンタッチ・ペン入力方式の表示手段(a)、項目入力画面を表示し、保険設定コンサルティングの計算等のための保険設定事項を選択肢からペンタッチにより選択決定する項目入力画面表示手段(b)、および決定された保険設計事項を入力内容確認画面に表示し、確認処理を行う確認画面表示手段(c)を備え、保険設計に関する計算式により計算を実行し、保険設計コンサルティング画面に表示する携帯型保険設計コンサルティング装置が示されている。

【0008】 特開平7-239885号公報には、保険業務における申込書の作成および証券発行までを系統的にコンピュータ処理する保険業務処理システム、さらに詳

しくは、勧誘資料、保険料率、その他の所要データ、書式等の保険業務の遂行に必要なデータ類を記憶すると共に、保険契約業務、証券類発行等の管理を行うためのホストコンピュータ(a)と、そのホストコンピュータとの間でデータのアップロードおよびダウンロードが可能な携帯端末装置であって、保険契約者に対する資料の提示、契約申込書作成のための個人データならびに車両データの入力、申込書の作成等を実行する携帯端末装置(b)とを有し、申込書の捺印を除きペーパー使用を排した保険業務処理システムが示されている。

【0009】特開平8-305760号公報には、契約者にとって必要となる保険項目を保険料を考慮して容易に選択できる保険設定システムおよび保険設定書、さらに詳しくは、契約者の年代および家族構成等のライフステージに応じた複数の保険項目を格納する保険種テーブル(a)と、複数の保険項目の複数の保険金に対応した年齢別の保険料を格納する保険項目別保険料テーブル(b)と、加入者の年齢および加入する保険内容を入力するキーボード(c)とを備え、キーボード(c)からの入力データに応じてCPU(d)が保険種テーブル(a)から複数の保険項目を選択し、選択された保険項目および各保険項目に応じた保険金ならびに保険期間等をファクターとして保険項目別保険料テーブル(b)から毎月の保険料を演算し、保険料および保険内容を積層化した保険料設計書を印刷するシステムが示されている。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】保険は、現代の社会においては欠くことのできない制度であるが、リスク観に個人差がある上、加入手続も煩わしいので、自ら進んで加入しない傾向があり、保険会社は需要喚起に苦慮している。しかしながら、現代の社会において保険の重要性には変わりはなく、潜在需要自体は存在するので、サービスを含めもし消費者に魅力のある商品を創案し、また消費者が関心を持つようなアプローチの仕方があり、さらには従来保険に関心を持っていない層（たとえば若年層）も関心を持つようになり、そして望ましくは消費者が自ら加入しようという動機付けを見出すことができれば、需要がさらに喚起されることになる。

【0011】しかるに、新しい保険商品は種々開発されているものの、もはや出尽くした感があって、新鮮味が欠いているのが現状である。そのため、保険の契約額の上昇にブレーキがかかり、また景気の動向に敏感に受けて、保険商品によっては契約額が減少する傾向すらある。

【0012】上にいくつか例示したコンピュータ利用システムは、省力化、迅速化の点では好ましいとは思われるものの、消費者が自ら加入しようとする動機付けとなることはほとんど期待できない。

【0013】本発明はこのような背景下において、消費者に抵抗がないばかりか、従来保険に関心を持っていな

い層も関心を持つようになり、さらには消費者自らが加入しようとする動機付けとなり、しかも需要者の経済的負担も少なく、一方保険会社や代理店にとっては、消費者の注目を惹くと共に、顧客獲得のための投資額が小さいにもかかわらず、新たな多数の顧客を獲得することが可能な運勢連動型の保険処理システムを提供することを目的とするものである。

【0014】

【課題を解決するための手段】本発明の運勢連動型保険処理システムは、運勢に関する情報と保険に関する情報を備えたホスト側コンピュータ(1)と、そのホスト側コンピュータ(1)にアクセス可能な利用者側端末装置(2)とからなり、利用者側の操作により選択または設定した運勢情報に基いて保険加入期間および保険条件を定め、保険加入のための手続ができるようにしたことを特徴とするものである。

【0015】本発明の運勢連動型保険処理システムは、より具体的かつ好適には、運勢を知るに必要な諸データに関する運勢データファイル(11)と、保険処理に必要な諸データに関する保険データファイル(12)とを備え、かつ保険業務の演算、記録、管理等の処理を行うためのホスト側コンピュータ(1)と、そのホスト側コンピュータ(1)との間でアップロードおよびダウンロードを行うための端末装置であって、運勢判断に必要な利用者の個人情報を入力するための運勢判断用個人情報入力画面手段(21)と、占いの種類を入力するための占い種類入力画面手段(22)と、それらの個人情報および占いの種類に基く利用者の運勢情報を表示する運勢情報表示画面手段(23)と、その運勢情報に対応する保険情報を表示する保険情報表示画面手段(24)と、その保険情報に基き保険加入期間を設定する保険加入期間入力画面手段(25)と、他の保険加入に必要な保険条件を設定するための保険条件入力画面手段(26)と、他の保険加入に必要な個人情報を入力するための保険加入用個人情報入力画面手段(27)とを備えた利用者側端末装置(2)とからなることを特徴とするものである。

【0016】この場合、上記の利用者側端末装置(2)が、さらに、保険加入申込書または保険証券に相当する画像を表示、記憶または出力する確認手段(28)を備えていることが好ましい。

【0017】

【発明の実施の形態】以下本発明を詳細に説明する。

【0018】〈本発明のシステムの特徴〉本発明の運勢連動型保険処理システムは、利用者が自分の運勢を知って保険に加入するシステムであるが、むしろ利用者が自分の運勢を知ることが主で、それに保険が付帯する「保険付き占いシステム」であるという方が、本発明のシステムの親しみやすさおよび使いやすさを端的に表わしているといえることができる。

【0019】〈保険の種類〉本発明のシステムには、生

命保険および損害保険が共に適用されるが、保険料が比較的低額で、加入に際して条件の少ない保険である損害保険、殊に傷害保険に最も適している。生命保険の場合には、現在および過去の健康状態の告知のみで足りる比較的低額でかつ短期の保険の場合に適している（保険加入前の検診が必要な通常の生命保険のような場合は、本発明のシステムにはなじみにくい）。特約により、本契約の保険に異なる種類の保険を付加させることもできる。

【0020】〈占い、運勢〉ホスト側コンピュータ(1) 10
の運勢データファイル(11)には、運勢を知るに必要な諸データ、すなわち占いの種類やそれに対応する運勢などの諸データが蓄積され、利用者側端末装置(2)により引き出し可能となっている。

【0021】運勢を知るための占いの種類としては、科学的根拠はないか乏しいものの、吉凶や運を知る手段として民間において一定程度受け入れられているものがあげられる。

【0022】占いの種類には多くのものがあり、たとえば、暦上の吉凶、東洋占星術、西洋占星術、手相（指紋を含む）や人相、生年月日に基く個人のバイオリズム、血液型占い、姓名判断、四柱推命、風水、方角による吉凶、易占い、タロットカード占い、夢占いなどが例示され、他にも多くのものがある。これらに基いて運勢を知るには、その人の生年月日、出生時刻、性別、血液型などのうちの1つまたは2つ以上の情報が必要である。ただし、六曜星のように、個々の人に依存せず万人に共通の吉凶とされているものもある。性格検査に類するいくつかの質問を行って、その答を参考に運勢を知ること 20
もできる。以下においては、いくつかの占いについてもう少し詳しく説明する。

【0023】（イ）暦上の吉凶については、いわゆる六曜星がある。これは、先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口の六曜を、

- ・旧暦の正月と7月の朔日は、先勝から友引、先負、仏滅、・・・、
- ・旧暦の2月と8月の朔日は、友引から先負、仏滅、・・・、
- ・旧暦の3月と9月の朔日は、先負から仏滅、大安、・・・、
- ・旧暦の4月と10月の朔日は、仏滅から大安、赤口、・・・、
- ・旧暦の5月と11月の朔日は、大安から赤口、先勝、・・・、
- ・旧暦の6月と12月の朔日は、赤口から先勝、友引、・・・

とそれぞれ繰っていき、吉凶を決める方法である。

【0024】この六曜星は現代においても広く普及しており、カレンダーにも記載されていることが多く、冠婚葬祭の日時はもとより、日常生活にも影響を与えてい 50

る。特に、友引の日には葬式を避け、仏滅の日には結婚式や契約を避けることが多い。六曜星は、少なくとも現在の段階では大多数の日本人の風習に近いものとなっているので、運勢の一つというべきであり、本発明においては占いの種類、運勢データとして利用できる。

【0025】（ロ）厄年など

厄年、厄月、厄日、殊に厄年についても、日本では気にしている人が多い。厄年は陰陽道で災厄にあいやすいとされる年令であり、数え年で男は25歳と42歳、女は19歳と33歳である。特に男の42歳、女の33歳は大厄と言われ、厄年の前後を前厄、後厄として忌み慎む風習がある。この厄年なども、本発明においては占いの種類、運勢データとして利用できる。

【0026】（ロ）占星術

東洋占星術や西洋占星術により運勢を知ろうとする試みは古くからなされている。占星術には多種のものがあるが、本発明においてはこの占星術を占いの種類、運勢データとして利用できる。

【0027】（ハ）手相、人相、指紋

画像入力装置を利用すれば、手相、人相、指紋の入力も可能であり、それに基いて自動的に運勢を知ることができることもできる。

【0028】（ニ）バイオリズム

身体リズム、感情リズム、知性リズムのそれぞれには、高調期一端境期一低調期というように周期があるとされている。生年月日で決まるとされる個人のバイオリズムは、運勢の一つということができ、本発明においては占いの種類、運勢データとして利用できる。その人がバイオリズムを気にしているときは、たとえば端境期や低調期には行動に注意するであろうし、念のためそれらの期間だけでも傷害保険の加入期間としたいという動機を生ずる。あるいは逆に長期のバイオリズムで自分の高調期（たとえばその人の結婚適齢期）を知り、その高調期に合わせて生命保険の満期が来るようにする使い方をすることもできる。

【0029】〈システム〉本発明の運勢連動型保険処理システムは、ホスト側コンピュータ(1)と利用者側端末装置(2)とからなる。

【0030】このシステムは、運勢に関する情報と保険に関する情報を備えたホスト側コンピュータ(1)と、そのホスト側コンピュータ(1)にアクセス可能な利用者側端末装置(2)とからなり、利用者側の操作により選択または設定した運勢情報に基いて保険加入期間および保険条件を定め、保険加入のための手続ができるようにしたものである。以下、より具体的かつ好適な態様について述べる。

【0031】このうちホスト側コンピュータ(1)は、運勢を知るに必要な諸データに関する運勢データファイル(11)と、保険処理に必要な諸データに関する保険データファイル(12)とを備え、かつ保険業務の演算、記録、管

理等の処理を行う。運勢データファイル(11)には、占いの種類やそれに対応する運勢などの諸データが集録される。保険データファイル(12)には、保険処理に必要な詳細なデータが集録される。なお、ホスト側コンピュータ(1)の運勢データファイル(11)については、すでにインターネット上にある占いサイトを使用して(つまりホスト側コンピュータ(1)の役割の一部を分担させて)、その占い表示の後に保険契約システムを付加するようにすることもできる。

【0032】利用者側端末装置(2)は、上記のホスト側コンピュータ(1)との間でアップロードおよびダウンロードを行うための端末装置である。ここで端末装置としては、利用者側のパソコン、携帯通信装置(文字のみならず画像を送受信できるものもある)、移動体通信装置、代理店や協力店の店頭設置して操作するパソコン、家電製品やゲーム機に備わっている通信機構などの端末装置などがあげられる。

【0033】利用者側端末装置(2)は、
 ・運勢判断に必要な利用者の個人情報を入力するための運勢判断用個人情報入力画面手段(21)と、
 ・占いの種類を入力するための占い種類入力画面手段(22)と、
 ・それらの個人情報および占いの種類に基く利用者の運勢情報を表示する運勢情報表示画面手段(23)と、
 ・その運勢情報に対応する保険情報を表示する保険情報表示画面手段(24)と、
 ・その保険情報に基き保険加入期間を設定する保険加入期間入力画面手段(25)と、
 ・他の保険加入に必要な保険条件を設定するための保険条件入力画面手段(26)と、
 ・他の保険加入に必要な個人情報を入力するための保険加入用個人情報入力画面手段(27)とを備えている。

【0034】利用者側端末装置(2)は、さらに、保険加入申込書または保険証券に相当する画像を表示、記憶または出力する確認手段(28)を備えていることが好ましい。

【0035】運勢判断用個人情報入力画面手段(21)により入力する利用者の個人情報としては、氏名、生年月日、出生時刻、性別、血液型などがあげられる。干支や星座も個人情報として入力することができるが、生年月日で自動的に判明するので、入力しなくてもよい。個人情報として手相、人相、指紋などが必要なときは、画像入力装置を利用して入力する。

【0036】占い種類入力画面手段(22)においては、先に述べた占いの種類を入力する。占いの種類は画面に表示されているので、単にその中から選択するだけでよい。

【0037】運勢情報表示画面手段(23)においては、上記の個人情報および占いの種類に基く利用者の運勢情報

が表示されるが、この表示画面が利用者が最も関心を持つところであり、かつ本発明のシステムが利用者にとって魅力のあるものかどうか大きく影響を与えるので、充分の工夫を講じるべきである。

【0038】表示画面に現れる運勢情報は、たとえば1ヶ月ごとというように更新されていくようにすることが望ましく、そのときには先の運勢情報との間に連続性ないし連関性を持たせるようにすることが望ましい。1回目に操作した利用者がそのときは保険に加入しなくても、ある期間経過してからの2回目の操作で自分の運勢の変化や流れを知ることができるので、自分が運勢の世界に入り込む感覚を受けるからである。

【0039】表示画面に現れる運勢情報には、先に入力した利用者の氏名が「何々さん」というように表示されるようにしたり、予めその人の好きな動物やキャラクターを選択させておいて、その動物やキャラクターが画面に登場するような工夫を行うことも好ましい。このようにすると、さらに親しみが湧くからである。また、音声で話しかけてきたり、音声や擬音を発するなど音響効果を出すようにすることも好ましい。

【0040】運勢情報表示画面手段(23)における画面には、一定期間の運勢を表、グラフまたは図形で表示するようにし、それに基づいて利用者が後述の保険加入期間入力画面手段(25)により保険加入期間を選択設定することができるようにすることが望ましい。

【0041】保険情報表示画面手段(24)においては、その運勢情報に対応する保険情報が表示される。保険情報とは、保険の種類、保険料(掛金のこと)、補償期間、保険金額、健康状態の確認欄、留意事項の説明などである。トータル保険料を1000円、2000円、3000円というように選択して、加入期間に対応する保険金額を表示させるときと、1日当りの保険料を50円、100円というように選択し、保険金額の方を固定して、加入期間全体に要する保険料を表示するなどの表示のさせ方がある。

【0042】保険加入期間入力画面手段(25)においては、上記の保険情報に基き、保険加入期間を設定する。保険加入期間は、4~9月というように連続であってもよく、4~5月と8~9月というように断続していてもよく、あるいは向こう半年のうちの仏滅の日というように飛び飛びの日でもよく、極端な場合は1日限りでもよい。

【0043】保険条件入力画面手段(26)においては、他の保険加入に必要な保険条件、たとえば保険料の支払い条件が設定される。支払い条件とは、一括払い、分割払いの区別、クレジットカードによるオンライン支払い、オフラインでの銀行振り込みなどの区別である。

【0044】保険加入用個人情報入力画面手段(27)における他の保険加入に必要な個人情報とは、氏名、住所、生年月日、クレジット番号、職業、健康状態の報告など

10

20

30

40

50

である。保険契約者と被保険者とが異なるときは（扶養家族に保険を掛けたり、第三者に保険をプレゼントするような場合）、両者の個人情報が必要である。先の運勢判断用個人情報と重なる項目は、新たに入力するには及ばない。

【0045】確認手段(28)により、保険加入申込書または保険証券に相当する画像が表示、記憶または出力されるが、押印を要する保険加入申込書や正規の保険証券は、オフラインによることになる。ただし、もし法が許す状況になったときは、保険加入申込書のオンライン化や、保険証券そのもののオンライン発行が可能となる。なお、クレジットによる引き落としやオフラインによる支払いなどが完了しないときは、保険加入は発効せず、正規の保険証券（あるいは加入者証）は発行されないことになる。

【0046】保険に加入した人に対しては、以後はこのシステムを利用しての運勢判断を、無料または低額で行うことができるなどのサービスを行うことができる。

【0047】保険加入目的を有していない人にもシステムに親しんでもらうため、あるいは保険加入者に対する加入後のサービスのため、単なるおみくじや相性占いなど、保険加入とは直接の関係のない付随するサービスを提供することもできる。

【0048】また保険に親しんでもらうため、保険制度を解説した一般的事項や、操作者の個人情報に基いた絞った保険情報を提供することができる。また利用者のメールアドレスが確認できた時点より、利用者にと例えば毎朝占いの1行コメントを発信するなどのアフターサービスを行って、リピーターの確保につながるようにすることもできる。

【0049】

【実施例】次に実施例をあげて本発明をさらに説明する。

【0050】実施例1

図1は本発明の運勢運動型保険処理システムの装置構成の一例を示した説明図である。図2は図1の装置により実行される処理の一例を示したフロー図である。

【0051】図1に示したように、本発明における装置は、ホスト側コンピュータ(1)と利用者側端末装置(2)とで構成されている。利用者側端末装置(2)は、上記のホスト側コンピュータ(1)との間で、アップロードおよびダウンロードを行う。

【0052】ホスト側コンピュータ(1)は、運勢を知るに必要な諸データ（占いの種類やそれに対応する運勢データ）に関する運勢データファイル(11)と、保険処理に必要な諸データが集録された保険データファイル(12)とを備えている。またホスト側コンピュータ(1)は、保険業務の演算、記録、管理等の処理を行う機能を有している。

【0053】利用者側端末装置(2)は、次の手段を備え

ている。

1. 運勢判断に必要な利用者の個人情報（氏名、生年月日、性別、血液型等）を入力するための運勢判断用個人情報入力画面手段(21)。

2. 占いの種類（暦上の吉凶、東洋占星術、西洋占星術、生年月日に基く個人のバイオリズム、血液型占い、姓名判断、四柱推命等）を入力するための占い種類入力画面手段(22)。

3. それらの個人情報および占いの種類に基く利用者の運勢情報を表示する運勢情報表示画面手段(23)、その運勢情報に対応する保険情報を表示する保険情報表示画面手段(24)、および、その保険情報に基き保険加入期間を設定する保険加入期間入力画面手段(25)。これらについては、後の実施例2～4で具体例をあげる。

4. 他の保険加入に必要な保険条件（保険料の支払い条件等）を設定するための保険条件入力画面手段(26)。

5. 他の保険加入に必要な個人情報（氏名、住所、生年月日、クレジット番号、職業、健康状態の報告等）を入力するための保険加入用個人情報入力画面手段(27)。

6. 保険加入申込書または保険証券に相当する画像を表示、記憶または出力する確認手段(28)。

【0054】操作の一例を次に示す。

1. インターネットを利用して、ホスト側コンピュータ(1)を有する保険会社側（保険会社またはその代理店）のホームページを開く。

2. 占い種類入力画面手段(22)により、暦上の吉凶、東洋占星術、西洋占星術、生年月日に基く個人のバイオリズム、血液型占い、姓名判断、四柱推命等占いの種類を選択して入力する。もし必要なら、たとえば向こう1年間というように、占いの期間も選択できるようにする。

3. 運勢判断用個人情報入力画面手段(21)により、運勢を知るに必要な利用者の氏名、生年月日、性別、血液型等の情報を入力または選択する。写真、手形、指紋などが必要な場合には、画像入力装置を利用して入力を行う。この操作は先の2の前に行うこともできる。

4. 上記操作により、運勢情報表示画面手段(23)には、上記の個人情報および占いの種類に基く利用者の運勢情報がデータや図形として表示され、保険情報表示画面手段(24)には、その運勢情報に対応する保険情報が表示され、保険加入期間入力画面手段(25)には、その保険情報に基く保険加入期間を設定する画面が表示される（この画面には、期間を簡単に選択できるような選択肢を併せ表示しておく）。

5. 別の占いの種類による運勢を知りたいときは、上記2に戻って、別の占いの種類を選択する。

6. 上記4において、運勢情報により利用者の運勢（吉凶や高調・低調期）がわかり、保険情報により保険の内容がわかるので、保険に加入しようとするときは、それらを参考にして保険加入期間を設定する画面により加入期間を選択して入力する。なお保険料を一定にした保険

に加入しようとするときは、保険料（たとえば1000円、3000円、5000円というように）を選択して入力する。

7. 保険条件入力画面手段(26)により保険料の支払い条件等を選択して入力し、また保険加入用個人情報入力画面手段(27)により、氏名、住所、生年月日、クレジット番号、職業、健康状態の報告等の他の保険加入に必要な個人情報を入力する。

8. 最終的な保険加入の有無の意思表示を、YESまたはNOで行って確定する。

9. もし必要なら、確認手段(28)により、保険加入申込書または保険契約成立後に保険証券に相当する画像を表示、記憶または出力させる。

10. 正規の保険加入申込書または保険証券は、オフラインにより行う。ただし法が許すときは、正規の保険加入申込書の作成と送付はオンラインで行い、保険証券もオンライン発行する。

【0055】実施例2

図3は本発明のシステム利用時の運勢情報表示画面手段(23)、保険情報表示画面手段(24)および保険加入期間入力画面手段(25)における画面の一例を示した説明図である。

【0056】この例においては、利用者の個人情報および占いの種類に基く利用者の運勢が図形化されて表示されており、また同じ画面に、補償期間の選択肢、そのときの損害保険の保険料および保険金額等の保険情報も表示されている。なお図3においては、説明の簡単化のため、加入期間を月単位とし、保険料は3000円コースと1500円コースの2水準とする場合を示してある。

【0057】実施例3

図4は本発明のシステム利用時の運勢情報表示画面手段(23)における画面の他の一例を示した説明図である。この例においては、より詳しい運勢が該当部をクリックすることにより表われるようになっている。

【0058】実施例4

図5は本発明のシステム利用時の運勢情報表示画面手段(23)における画面のさらに他の一例を示した説明図である。この例においては、バイオリズムが表示されており、未来はもとより過去にも遡ることができるようにしてあるので、過去の事件がバイオリズムに関連しているかどうかの検証を行うことができる。

【0059】実施例5

利用者側端末装置(2)として携帯通信装置を用いた場合の契約までのプロセスの一例を、簡単化して次に示す。このうち14以降は、後処理工程である。

1. 占いサイトへのアクセス
2. 占いの選択
3. 個人データの入力（アドレスを含む）
4. 占い文章表示
5. 上記4の内容をグラフ表示（グラフにより、リスク

の高い年、月、週、日を強調表示)

6. 上記5により、損害保険または生命保険に加入することを推奨

7. 保険加入月または日の確定

8. 契約事項の確認

9. 保険料の支払い方法の選択（通話料に含めて徴収すること可）

10. 誕生日や記念日などに他の人にプレゼントする場合には、上記3に戻って、贈る相手の個人データを入力

11. 贈る相手へのコメントなどの入力

12. 保険証券、占いグラフなどの送付先を指定（契約者の様式、封筒の様式などの選択）

13. 最終確認

14. 通信各社からの加入者名簿の受け取り、その他加入者データの整理

15. 上記14からの保険料の受け取り（振り込み入金など）

16. 各保険会社への加入者名簿の送付と保険料の振り込みなど

17. 保険会社から加入者への保険証券、占いグラフなどの送付、あるいはこれらの画面上での確認

【0060】

【発明の効果】本発明の運勢連動型保険処理システムは、消費者にとって魅力がありかつ経済的にも負担が少なく、一方保険会社にとっては、消費者の注目を惹くと共に新たに顧客を獲得できる。以下本発明の効果をさらに具体的に述べる。

【0061】本発明の保険処理システムは、需要者が自ら加入しようとする動機付けとなる。このような動機付けは、従来の保険勧誘においても考えられていなかったことである。

【0062】保険加入を自らに希望で行うので、いわゆる義理加入のようなマイナスの感情を持たず、また操作して保険に加入しない場合でも、占いを楽しめるので保険制度が身近となり、また別の機会に保険に対する抵抗感がなくなるので、保険会社にとっても長期的にはプラスになる。しかも保険会社にとっては、従来の保険勧誘ルートとは別の動機で保険に入る人が増えるので、既存のルートによる保険加入が減少する危険が少ない。

【0063】損害保険の場合の保険料は、千円程度から1万円程度までという比較的低額であることが多いので、本発明のシステムは、特に一定額（たとえば3000円）を保険料として運勢に基く着目期間を保険期間とする場合に適している。

【0064】占いは難解であることが多いので、専門書を読んでも自分の運勢がすぐにはわからないことがある。また直接専門家を訪れる人はそれほど多くはなく、決して費用も安くはない。そこで携帯電話を通じた文字情報サービスやファクシミリサービスにより運勢を知ることができるシステムははじめられており、またコ

ンピュータを利用した通信占いが盛んになっているが、その利用は現時点でも月に数10万件もある。おそらくは保険にそれほど関心が高くはないであろう通信占いの利用者層が、本発明により自分の運勢を知ることができ、その一部でも保険に加入すれば需要はかなりの件数となることが期待できる。

【0065】本発明のシステムの利用者が友人や家族と共に端末装置の画面を見ていれば、その人も自分も操作してみたいという気持ちが働くので、利用者の自然な拡大が期待できる。

【0066】保険には多少関心があるが、保険会社の人に説明を受けることに抵抗を感じるので、説明そのものを聞くことがはばかれることも多い。かと言って市販の解説書では、その人に合った具体的事例が少ないので理解ができないのが通常である。このような場合、多少のコンピュータの知識があれば、本発明のシステムにおいては自分で操作でき、ホストコンピュータを介して内容を覗いたり、直接に加入したりすることができるので、保険に入る入らぬは別として、保険に関する予備的知識（たとえば傷害保険の場合、1日50円程度の保険料で1000万円の最大補償が受けられるというような知識）を得ることができる。

【0067】保険料は、保険の支払いに充当する部分としての純保険料と、保険経営を担うための付加保険料とからなり、付加保険料には保険会社の業務運営コスト、代理店手数料などの諸費用がかかるところ、本発明の保険処理システムはホストコンピュータを介して直接に加入するものであるので、この付加保険料に相当する部分を大巾に削減することができる。従ってその分だけ保険*

* 会社の収益が増加し、また削減した一部について保険料を安くするなどの自由度を生ずる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の運勢連動型保険処理システムの装置構成の一例を示した説明図である。

【図2】図1の装置により実行される処理の一例を示したフロー図である。

【図3】本発明のシステム利用時の運勢情報表示画面手段(23)、保険情報表示画面手段(24)および保険加入期間入力画面手段(25)における画面の一例を示した説明図である。

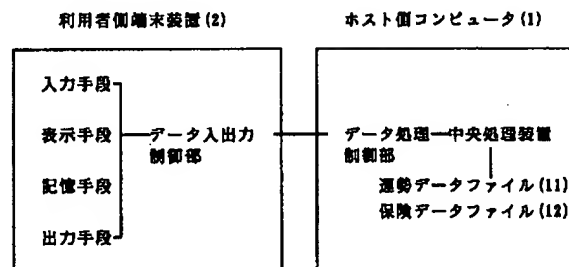
【図4】本発明のシステム利用時の運勢情報表示画面手段(23)における画面の他の一例を示した説明図である。

【図5】本発明のシステム利用時の運勢情報表示画面手段(23)における画面のさらに他の一例を示した説明図である。

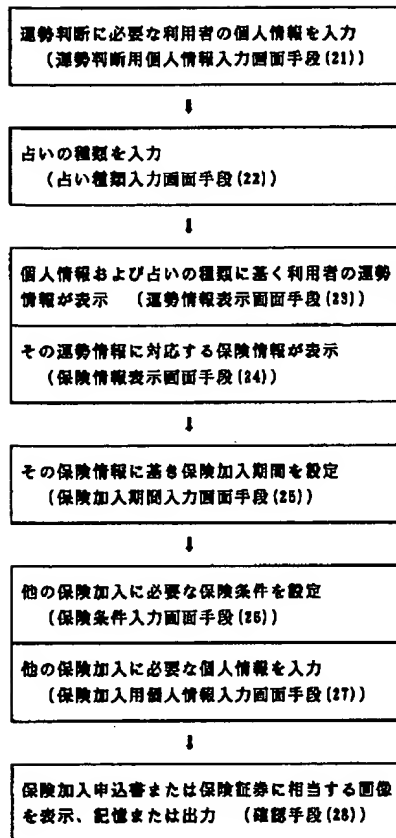
【符号の説明】

- (1) …ホスト側コンピュータ、
- (11) …運勢データファイル、
- (12) …保険データファイル、
- (2) …利用者側端末装置、
- (21) …運勢判断用個人情報入力画面手段、
- (22) …占い種類入力画面手段、
- (23) …運勢情報表示画面手段、
- (24) …保険情報表示画面手段、
- (25) …保険加入期間入力画面手段、
- (26) …保険条件入力画面手段、
- (27) …保険加入用個人情報入力画面手段、
- (28) …確認手段

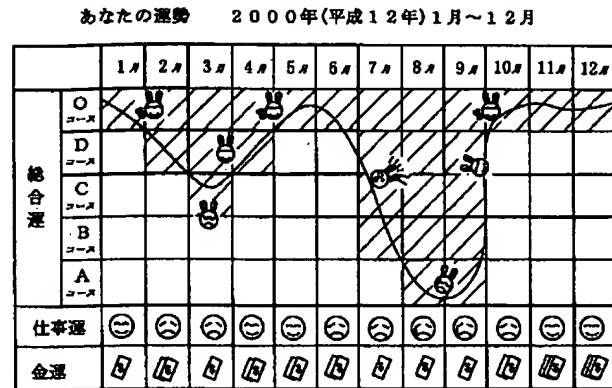
【図1】



【図2】



【図3】



保険料(掛金)の箇所と、コースA, B, C, D, Oのいずれかをクリックして下さい。

保険料(掛金) 3000円コース			保険料(掛金) 1500円コース		
加入期間	最大補償額		加入期間	最大補償額	
コースA	2ヶ月間	1,000万円	コースA	2ヶ月間	500万円
コースB	3ヶ月間	667万円	コースB	3ヶ月間	333万円
コースC	4ヶ月間	500万円	コースC	4ヶ月間	250万円
コースD	6ヶ月間	333万円	コースD	6ヶ月間	167万円
コースO	12ヶ月間	167万円	コースO	12ヶ月間	83万円

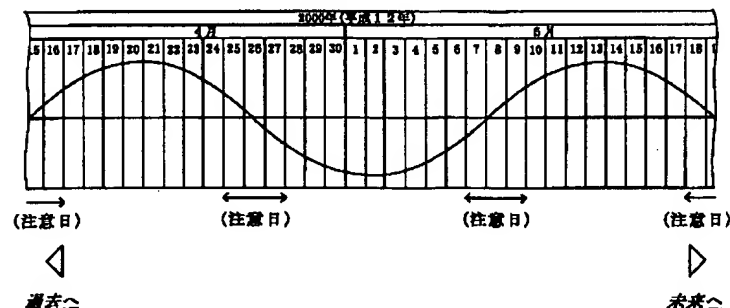
加入期間を任意に選択するときは、下の「任意選択」ボタンをクリックすると共に、加入する月をクリックして下さい。

任意選択	加入月					
加入月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	7月	8月	9月	10月	11月	12月

次画面に戻る 占いの種類の選択画面に戻る 終了

【図5】

あなたのバイオリズム・チャート[身体リズム](1999年1月～2020年12月)



【図4】

あなたの運勢 2000年(平成12年)1月～12月

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
健康運	E ゴース												
	D ゴース												
	C ゴース												
	B ゴース												
	A ゴース												
空難運													
怪我運													

あなたの健康運は……です。

加入すると氣に病むこともなくなって、“食欲” もりもり。
病気に済むといいね？！。

あなたの空難運は……です。

加入すると愛車心が増して、“運転” いきいき。
鍵のかけ忘れがなくなるといいね？！。

あなたの怪我運は……です。

加入すると万が一に対する安心から、“体の動き” のびのび。
事前に危険を回避できるといいね？！。

健康運から加入を検討するときは

[ここをクリック!! \(健康運\)](#)

空難運から加入を検討するときは

[ここをクリック!! \(空難運\)](#)

怪我運から加入を検討するときは

[ここをクリック!! \(怪我運\)](#)